

平成 28 年 5 月 26 日

助成事業実施報告書

団体名 いつひよファミリー
代表者・役職名 氏名 代表 斎藤 利広

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

あなたの子育て応援します！！プロジェクト

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2009年より「アタッチメント形成促進」=子どもと共に育み合い「子育てを楽しい」と思える環境作り、及び「コミュニティ形成促進」=子育てに悩み孤立してしまいがちな養育者が「あなたは一人ではない」と思える子育て環境を作る為、子育て支援団体「いつひよファミリー」設立。

キッズメンバーも在籍し、親子・家族で活動中。2016年“NPO 法人いつひよファミリー・^{はぐ}育はぐ”として申請中。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

【目的】

子育ては楽しいと思える環境・親子での楽しい時間作り・コミュニティ形成の場作りにより、「一人ではない」ことを感じ、アタッチメント形成促進、親子の良好な関係作り・育みを助ける。また、人と人との繋げ、孤立を防ぎ、虐待の未然防止を行う。

【社会的背景等】

子育てに悩み・不安感・負担感を抱え、孤立してしまっている養育者の多くは、気軽に相談できる場や人・集まる場を必要としている。養育者の孤立は虐待へ繋がる可能性があり、良好な親子関係作り・育児を楽しく思える環境作り、コミュニティ形成促進を図る必要がある。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

場所: 武蔵村山市民総合センター内子ども家庭支援センター

実施日: 5月 15 日(日)

対象: 0歳児を持つ親子から

地域子育て支援事業

- ・プロジェクト・体操等による子どもの発達段階やアタッチメント形成に関する講演
- ・孤立しがちな親へのアプローチによる孤立防止・身近な子育てに関する知識の提供と交換ができる場の提供
- ・親子養育者同士の交流の場作り・地域コミュニティ形成促進・育児相談・アタッチメント形成促進の親子ふれあい遊び・団欒
- ・ワークショップによる家に帰った後でも楽しめる手遊びや歌遊び・ふれあい遊び・制作等による親子交流の時間の提供
- ・保育士としての専門的立場からの育児相談へと繋げ家庭でもできる親子交流の方法の提供

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

【結果】実施回数 1 回 累計利用者数 300 名超(0 歳~80 代迄の親子・地域の方) 総合満足度92%

【成果】アンケートで「親子で楽しい時間を過ごす事ができた」「子どもも大人も楽しめた。」「自宅での遊びに活かせそう」「家でも子どもとマッサージや、歌ったりしたいと思います」「色々な年齢の子もおり、色々と参考になり、自宅での遊びに活かせそう」「久しぶりの方達にも会えて嬉しかった」「武蔵村山に住みたい」等、親子交流・地域の人との交流・自宅でもできる遊び方の提供等ができた。

【効果】親子・地域交流の場づくり・提供により、子育ては「一人ではない」という事・子育て支援の場があることを伝え、孤立への未然防止へ繋ぐ事ができた。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

【課題】

予定していた実施場所(1 部屋での実施予定から 2 部屋に変更)の変更があり、スタッフ増員での実施となった。予め様々な事を想定し、安全配慮の為にも、スタッフは多めに配置する。

アンケートを用意していたが、予想以上の利用があり、アンケート配布・回収ができない時間帯ができてしまった。また、より広い周知・利用へと繋げていき、継続した支援を行っていく必要がある。

【今後の展望】

このプロジェクトの他に行っている子育て支援事業と連動しながら、現代の子育て支援環境に取り巻く問題や、刻々と変化する子育てに対するニーズを的確に把握しながら、子育て支援環境を整え、子育てを楽しくできる環境づくりを行っていく。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

■申請プロジェクトの名称

あなたの子育て応援します！！プロジェクト

活動状況写真

- 子育てまつり(参加型人形劇による、音楽遊びや歌遊び・楽器遊びを手法として取り入れた親子交流・利用者交流)



- プラチナ級の子育て

(プロジェクトを使用し、家庭でも取り組めるベビーマッサージ等を手法としたアタッチメントの入り口作りの話)



●ワークショップ(親子制作等の手法による、親子の思い出作りや、家庭での会話作り、交流の場づくり、家庭では普段しないが、家庭でもできる制作による、親子交流支援)

